

第2回 外国メディアとの懇談会「Japan Business Update」

開催日：2017年9月20日(水) 場所：日本外国特派員協会
来賓：鹿野清 CEATEC JAPAN 実施協議会 エグゼクティブプロデューサー
池之内章 パナソニック ブランドコミュニケーション本部
スペースクリエイツ部 スペースメディア戦略室 室長
加藤哲朗 ファナック 常務理事 ロボット事業本部本部長補佐
渡邊知史 三井住友フィナンシャルグループ ITイノベーション推進部
シリコンバレー・デジタルイノベーションラボ室長

経済広報センターでは、わが国経済界の対外発信強化の観点から、日本外国特派員協会（FCCJ）と協力し、会員企業関係者と在京外国メディアとの懇談会「Japan Business Update」シリーズを開催している。9月20日、その第2回会合を開催し、10月3日から千葉市内で開催される電子・情報技術展示会「CEATEC JAPAN 2017」の見どころについて、パナソニック、ファナック、三井住友フィナンシャルグループ（SMFG）ならびにCEATEC JAPAN実施協議会の幹部らが外国メディアに説明した。

冒頭、鹿野清CEATEC実施協議会エグゼクティブプロデューサーから、同展示会が家電見本市から高度なIoT社会を提案する場へと進化し、昨年は来場者数が約15万人となったことなどが紹介された。

続いてパナソニックの池之内章室長が、調理済み食品の自動栄養素計測器「Calorieco」など、ファナックの加藤哲朗常務理事が、各種ロボットなどの製造装置をつなぎ一体的な操作を可能とする「FIELD システム」など、SMFGの渡邊知史室長が、人工知能やIoTを活用し農業を効率化する「アグリテック」への取り組みなどをそれぞれ説明。その後、活発な質疑応答が行われた。

当日は、フィナンシャル・タイムズ（英）、ザ・エコノミスト（英）、フランクフルター・アルゲマイネ（独）、パン・オリエント・ニュース（米）、ザ・ストレート・タイムズ（シンガポール）などから、10名のジャーナリストらが参加した。

以上



説明する鹿野 CEATEC 実施協議会エグゼクティブプロデューサー(右から2人目)
右はアズハリ FCCJ 会長